

< 報道発表資料 >

令和7年8月13日
京都市中京区役所地域力推進室

中京区文化協議会主催 文化財鑑賞会 ～松尾大社を探访する～ 参加者募集

中京区文化協議会では、例年、歴史や文化にまつわる様々な内容をテーマに文化財を訪問・鑑賞していただく「文化財鑑賞会」を開催しています。

本鑑賞会では、松尾大社を探访いただき、お酒とのつながりや歴史について、神職の御案内により、松風苑の三つの庭等を御見学いただきます。



本殿<松尾造り屋根>重要文化財 （写真提供 松尾大社）

【開催概要】

- 日 時 令和7年10月16日（木）午後2時～午後3時30分（受付：午後1時30分～）
- 見学先 松尾大社
(〒616-0024 京都市西京区嵐山宮町3)
- 対 象 中京区に在住、通学又は通勤の方
- 定 員 40名（申込多数の場合は抽選）
- 参加費 500円（当日現金にてお支払いください。）
- 申 込 8月14日（木）から9月26日（金）までの間に中京区役所HPの応募フォーム

(<https://www.city.kyoto.lg.jp/nakagyo/page/0000279847.html>) 又はFAX

(075-841-8182)からお申込みください。

※FAXの場合は、申込時にイベント名「文化財鑑賞会」、参加者の住所、郵便番号、氏名(ふりがな)、電話番号を御記入ください。

※参加者の方には、10月2日(木)以降に参加証の発送をもって通知します。

●主 催 中京区文化協議会、中京区役所地域力推進室まちづくり担当

●その他 見学エリアは山間部のため段差等があります。御了承ください。

松尾大社について

御祭神 大山咋神(おおやまぐいのかみ) 市杵島姫命(いちきしまひめのみこと)

松尾大社は京都最古の神社で、太古この地方に住んでいた住民が、松尾山の神霊を祀って、生活の守護神としたのが起源とされております。

五世紀の頃、朝鮮半島から渡来した秦氏がこの地に移住して松尾の神を一族の総氏神と仰ぎ、山城・丹波の両国を開拓し河川を治めて農林産業を興しました。

文武天皇の大宝元年(七〇一)勅命により、秦忌寸都理^{はたのいみきと}が現在地に社殿を創建、平安時代以降は賀茂両社と共に皇城镇護の社、“四神相応”白虎の地に坐す社とされてまいりました。

特に近世以降は醸造祖神として、全国の酒・味噌・醤油・酢等の製造および販売業の皆様から格別な尊崇を受けております。



蓬萊の庭



曲水の庭

(写真提供 松尾大社)

<お問合せ先>

京都市中京区役所地域力推進室 まちづくり担当

電 話：075-812-2426

FAX：075-841-8182